



『トランプ2.0』と世界 問われる日本の針路と2026年

講師：共同通信社編集・論説委員 太田 昌克 様
早稲田大学客員教授

プロフィール

1968年富山県生まれ。早稲田大学卒、共同通信社広島支局、外信部、ワシントン支局等を経て現・編集兼論説委員・早稲田大学客員教授・長崎大学客員教授。2006年ボーン賞を受賞。コメンテーターとして多くのテレビ出演。著書に『日米中枢9人の3・11―核溶融7日間の残像』かもがわ出版、『核クライシス』早川書房。他多数。

人類最後の日までの残り時間「終末時計」1分29秒、1947年の終末時計公表以来残り時間が最も短くなりました。

広島、長崎への原爆投下から80年。昨年ノーベル平和賞に日本原水爆被害者団体協議会が選ばれましたが、残念ながら核の脅威は消えるどころか増大しNPT体制も形骸化が進んでいます。以下、講師著・『核クライシス』より引用〈ヒロシマ、ナガサキ、イラク、ウクライナ……。『歴史の糸』が、遠くならうとしている過去から現代に垂れこめている。そして残念ながら、核の影は80年もの歳月を超えて私たちが生きる今この瞬間に重く暗く伸びている。〉

まもなく2026年を迎えます。私たち一人一人が平和への希求を、より多くの市民と連帯するために力を合わせようではありませんか。講演会へのご参加お待ちしております。

日時 2025年12月23日(火)午後6時開場 6時25分開演～8時終了

会場 県立かながわ労働プラザ(エルプラザ)3階ホール

横浜市中区寿町1-4 ☎ 045-633-5413

JR根岸線「石川町駅」中華街口(北口)徒歩3分

市営地下鉄「伊勢佐木長者町駅」「関内駅」徒歩12分

会費 2000円・学生無料

主催：一般社団法人勁草塾(代表理事斎藤 勁)

後援：神奈川新聞社・東京新聞横浜支局・タウンニュース社・(公社)ジャーナリスト協会・連合神奈川(一社)寺島文庫(順不同)

*参加お申込みの方は下記までEメールまたはFAXをお願いします。先着100名様で締め切らせていただきます。

一般社団法人勁草塾 横浜市南区榎町2-51 TEL 045-315-7530 FAX 045-315-7540 mail:t-saitou.jimusho@zd.wakwak.com

12月23日(火)の年末講演会に参加を申し込みます。(名)

お名前

住所